

# 風景を彩る鋼橋

応募して頂いた作品から、審査の結果以下の4作品を入賞とさせて頂きました。次号でも引き続き募集を行いますので、皆様の応募をお待ちしております。

## 金賞

### ふれあい橋夕景

撮影が9月中旬とありこの季節のバステル調と人道橋アーチのシルエットが見事に調和した作品に仕上がっています。橋上にはジョギングの人、散歩の人、カメラを構える人と暮らしが夕景とともに浮かびあがってきます。建設中の東京スカイツリーが新たな景観の仲間入りをして時を刻み始めています。左サイド高層ビルの灯りが夕刻の変化と遠近感を演出しています。この夕景から現代の童謡が誕生しても不思議ではない空間が展開しているのどかです。



■撮影者:羽田 修 ■撮影時期:平成22年9月  
■撮影場所:東京都江東区  
■撮影データ:キャノン EOS40D 24~105mm 絞り優先 1/30秒

## 銀賞

### 清洲橋の夜

清洲橋は永代橋、勝鬨橋と共に隅田川の流れに架かり2007年、国の重要文化財に指定されている歴史的な橋です。その清洲橋を作者は、時間帯とカメラ位置と角度を確保して見事な夕景を表現しました。撮影時は、殆ど暗かったのがデジタルカメラには都心部の灯りが雲に反射して写り、橋上は多彩なライトがミックスされファンタジックな光景となっている。カメラをややローアングルで橋桁の側面を写しこみ形状をしっかり表現している。ドイツケルンの市民もこの写真には「ブラボー!」です。



■撮影者:陶器 正 ■撮影時期:平成22年11月  
■撮影場所:東京都中央区  
■撮影データ:キャノン Power Shot A85 F2.8 1.0秒

身近な橋、わざわざ行った橋、偶然出合った橋。動機はさまざまですが今回も故郷の橋、旅先の橋、歴史的な橋、物流を支える橋、暮らしの中の橋と多彩な表情の写真を応募していただきました。

本年度も上位は、紙一重の接戦でした。ただ残念なことは、せっかく入賞候補にしながらプリントの仕上げが『ザツ』で選外へこぼれた作品が何点かありました。写真は、撮影時はもちろんですが大事なのはプリントの仕上げです。応募された全員が自分のプリンターでプリントをしてきました。メンテナンスをしっかりとって極上の仕上げで再チャレンジして頂きたいものです。あなたのイメージに沿ったあなたの橋を作品にしてぜひご紹介ください。期待しております。

小橋 健一(写真家/公益社団法人日本写真家協会会員)



銅賞

## 島への架け橋

沖縄の時間がこの写真から伝わってきます。橋の親柱にシーサーがでんと構えています。これも沖縄ならではの特異な文化です。綺麗な青空と雲がヨコ位置の半分以上を占めていてもその空間が楽しめるから不思議です。ゆっくり時間が流れている証拠です。作者もここにもっと佇んでいたかったに違いありません。橋桁部分を手前に取り入れ朱色アーチ部分のボリュームを後方へレイアウトしたことによりスマート空間の作品になりました。旅人は、橋の写真を撮りましょう。

■撮影者：生田目 聡  
■撮影時期：平成22年10月  
■撮影場所：沖縄県うるま市(伊計大橋)  
■撮影データ：オリンパス E-520 F13 1/160秒



銅賞

## クローバー橋

横十間川に架かる人道橋ですね。橋桁真下からのカメラ位置とカメラアングルがこの写真の決め手となり、アッパーからの迫力ある作品になりました。鋼の強靱とボリューム感が強烈に迫りそして下町の暮らしも見える。自転車で風を切って走る少年。ジャンボ機か、大きすぎるクジラか？見る人の夢も膨らみ身近に住んでいるからこそクローバー橋にカメラを向けられる。橋と水辺と暮らしの関係がとてもよく表現されています。

■撮影者：五月女 彦二  
■撮影時期：平成22年11月  
■撮影場所：東京都江東区  
■撮影データ：キヤノン EOS Kiss 24~105mm F8 1/125秒

## 写真募集要領

【題材】風景・人物等、自由な主題の写真で、「鉄の橋」が重要な構成要素の一部となっている作品を募集します。※鋼橋に限らせて頂きます。

【応募資格】アマチュアの方に限ります。

【応募作品の規格】●カラープリントでキャビネ版(2Lサイズ)のもの。●デジタルカメラで撮影した写真はプリント出力したもの。●組写真、合成写真は不可。

【応募締め切り】平成23年12月31日

【応募上の注意点】●応募作品は自作・未発表のものに限ります。●応募は一人1点までと致します。

●応募作品は、①題名②撮影者(氏名・年齢・住所・電話番号)③撮影年月日④撮影場所⑤撮影データ⑥写真説明を記入した応募票(書式任意)を、必ず添付してください。●投稿された写真の著作権は投稿者個人に属しますが、著作権は主催者に帰属するものとします。●応募作品は返却しません。

【作品掲載】「虹橋」76号(平成24年5月発刊予定)に掲載させて頂きます。

【審査】●審査員小橋健一(公益社団法人日本写真家協会会員)●審査員、事務局で審査の上、掲載写真(点数未定)を選定させて頂きます。●謝礼として「金賞」作品には1万円のクオカード、「銀賞」「銅賞」作品には5千円のクオカードを贈呈させて頂きます。

【事務局・送付先】〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目6番11号(社)日本橋梁建設協会 「虹橋」編集係